

平成29年度事業計画



平成29年度事業計画にあたって

日本連盟では、5年後の平成34（2022）年の日本連盟創立100周年までに、日本のスカウト運動を活性化させ、「ベターワールド」の実現に向かって大きく前進できるよう「活動的で自立したスカウトを育てる」ことを目標としています。

そのために、平成27（2015）年には日本で第23回世界スカウトジャンボリーを開催し、大きな成果を上げました。これは、日本のスカウト運動発展のための第一歩であり、さらなる成果を上げるために、これまでに抱えた様々な課題の解決策、そして新たな発展のための取り組みを検討し、「100周年を目指した長中期計画」を策定しました。

この長中期計画は、平成28（2016）年度から行動計画に沿って取り組みを開始し、2年間から6年間で成果を出すための具体策です。例えば、セーフ・フロム・ハームは、今年度の登録から全指導者が取り組み、運動の質の向上につなげています。

平成29（2017）年度は、これまでの取り組みを踏まえて創立100周年に向けて具体的に一步踏み出す年度となります。重点施策と重点事業、長中期計画の取り組み、一般事業等は、日本連盟のみならず、県連盟、地区、団、そして加盟員全員で火の球となって取り組むことが肝要です。

そして、平成31（2019）年のラグビーワールドカップ、平成32（2020）年の東京オリンピック・パラリンピックでボーイスカウトたちが社会の前面に立って奉仕し、100周年に向けて大きく弾みをつけたいと考えています。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

理事長

奥島孝康

平成29年度 事業計画

平成29年度事業スローガン <案>

「活動的で自立したスカウトを育てよう！！」 ～日本連盟創立100周年を目指して～

平成29（2017）年度は、日本連盟創立95周年の記念すべき年にあたり、創立100周年まで5年となり、創立100周年を目指して長中期計画を策定し、平成28年度から行動計画に沿って具体的な取り組みを進めています。

日本連盟では、高萩スカウトフィールドのグランドオープン、日本ジャンボレット高萩2017・富士特別野営2017・山中野営場お別れイベント等の開催、ボーイ・ベンチャー部門の新進級課程への取り組み、第41回世界スカウト会議（アゼルバイジャン）への日本代表団派遣、第15回世界スカウトムート（アイスランド）・第13回世界スカウトユースフォーラム（アゼルバイジャン）等への参加者の派遣等に積極的に取り組むとともに、創立100周年を目指した様々な準備を進めます。

そして、平成27年度に日本で開催した第23回世界スカウトジャンボリーの経験を踏まえて、日本のスカウト活動の活性化と加盟員拡大を最大の課題として、次の施策・事業を展開します。

I. 重点施策と重点事業

《重点施策》

1. 日本連盟創立100周年を目指した長中期計画の行動計画への取り組み

平成34年度の日本連盟創立100周年までに達成する長中期計画については、平成29年度は2年目を迎えます。

- ① コミッショナーの充実
- ② 質の高い活動のための方策(セーフ・フロム・ハーム)
- ③ 指導者養成
- ④ 地域コミュニティづくり
- ⑤ プログラムの見直し
- ⑥ 登録制度の見直し
- ⑦ スカウティングにおける成人の役割
- ⑧ 情報伝達手段の刷新
- ⑨ 組織体制の検討
- ⑩ 国家資格認定制度へのチャレンジ
- ⑪ 公益事業の取り組み
- ⑫ 野外活動施設の確保

2. 加盟員拡大・組織拡充に向けた取り組み

加盟員の拡大と組織拡充に取り組み、スカウト活動を活性化するために、日本連盟のみならず、県連盟・地区・団との連携により、次の3項目を重点的に取り組みます。

- 加盟員獲得に向けた広報活動の展開・スカウト活動のユニークさをアピール
- 母親・父親世代へのアプローチと関心事のアピール
- 団への支援と新団設立への取り組み

3. 安定した運営

公益財団法人として安定した運営を進めるために、次の4項目への取り組みを進めます。

- 企業・他団体・行政との連携促進
- 維持会員増強
- 登録料の検討
- 世界・地域との連携

4. 100周年記念事業の策定

日本連盟創立100周年まで5年となる平成29年度より、記念事業の様々な計画の検討を開始します。

- 記念事業の策定と準備開始
- 第18回日本スカウトジャンボリー（2022年）の会場決定

《重点事業》

1. 日本ジャンボレット高萩2017・高萩スカウトフィールド・グランドオープン

平成25年度から整備を行っている高萩スカウトフィールドを正式にオープンし、初めての日本連盟行事として日本ジャンボレット高萩2017を開催します。

2. 富士特別野営2017

山中野営場閉鎖に伴い、同野営場での最後の富士特別野営を開催します。

3. 山中野営場お別れイベント・山中野営場閉鎖

8月に山中野営場を閉鎖するにあたり、富士特別野営2017に続き、山中野営場お別れイベントを開催し、その後閉鎖に向けた工事を行います。

4. 世界および国際事業への取り組み

第9回APRサミット会議（インドネシア）および第41回世界スカウト会議（アゼルバイジャン）に日本代表団を派遣し、世界と地域の取り組みに対応します。

また、第15回世界スカウトムート（アイスランド）と第13回世界スカウトユースフォーラム（アゼルバイジャン）に青年代表を派遣します。

平成31年度に実施する第24回世界スカウトジャンボリー派遣については、派遣実行委員会による日本派遣団編成準備を進め、同会場で開催のアメリカジャンボリーを視察します。

5. 第17回日本スカウトジャンボリー開催準備

冒険 ～能登のチカラ未来へ～ をテーマに平成30年度に石川県珠洲市で開催する第17回日本スカウトジャンボリー（17NSJ）については、平成29年度に参加者の申し込み手続きを行い、年末には大枠での準備を取りまとめます。

II. 一般事業

例年あるいは定期的に取り組んでいる事業を中心に、主として団に関する事業、主として県連盟・地区に関する事業、主として日本連盟に関する事業に分類し、10ページから11ページに一覧表で示します。これらの事業は、日本連盟のみならず、県連盟・地区・団が連携して取り組むもので、一覧表には関係する組織に「◎」「○」を示しています。

各分類の中では、スカウトプログラム関連事業、指導者関連事業、団支援・組織拡充関係事業、国際関係事業、社会連携・広報関係事業、「セーフ・フロム・ホーム」・安全関係事業、運営事業等が判るように関係委員会等を略字で示していますので、参考にしてください。